

Libra | on 9

<http://www.libra-sc.jp/>

vol.

りぶらいおん

特集:Libra総合館長インタビュー 米津 真 氏

☆私の一冊 vol.7 *Information*

『太陽の世界』 半村良著

Information

☆講演会と読者マラソンのご案内

☆乳幼児室のご案内 *Information*

☆りぶら中央図書館情報 *Library*

Calendar

☆りぶらイベントカレンダー

☆庭で遊ぼう！

「空き缶ドルナイト」など

☆りぶらサポータークラブ

平成21年度の総括と

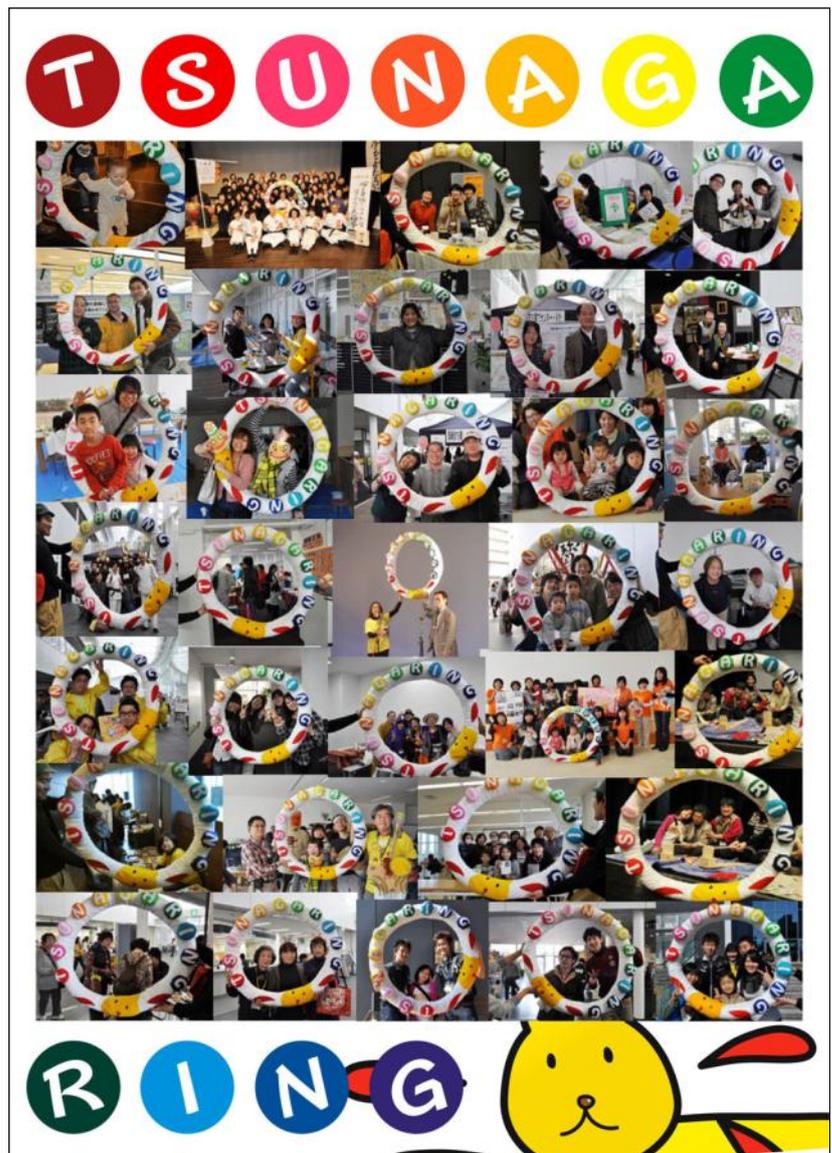
平成22年度の活動紹介

☆りぶらまつり

りぶらまつり2009開催報告

りぶらまつり2010

第1回実行委員会のご案内



libra りぶら

岡崎市図書館交流プラザ

図書館交流プラザ（愛称：Libra）は、「図書館」「活動支援」「文化創造」「交流」の4つの機能で構成されています。

りぶらサポータークラブ(LSC)は、Libraの施設活用をサポートする活動をしています。

Libra総合館長 米津 眞氏 インタビュー



協働から芽生える 思いやりの市民自治を夢見て

4月。新しい季節の始まりとともに、りぶらにも新しい総合館長を迎えました。米津眞さんです。着任早々のご多忙な時間をぬって、中央図書館奥にある総合館長室で、快くインタビューを受けていただきました。

りぶら総合館長に就任される前は、どのようなお仕事をされていたのですか？

米津：市役所の企画課で、総合計画の策定や行政改革、額田地域の山村振興などに関わっていました。それ以前には、4年間市民協働推進課で、市民協働の仕事をしていて、市民活動の拠点となっている「よりなん」などで、『ワークショップ』という手法を用いて、市民の皆さん

の意見を取り入れながら『建物』を造ってきました。

市民と行政とが『協働』して、公共事業を進めていく、そういう事例のひとつになったと思っています。その流れで、この「りぶら」も市民の皆さんと一緒に作ってきた施設ですね。

一米津さんご自身も、市民活動をされているとお聞きしました。活動している側としては、公益性と自分のやりたいことという葛藤があって、そこのところを行政にきちんと見極めてほしいという部分があるのですが。

米津：「岡崎第九を歌う会」の実行委員長をしていて、今年でもう14年にな

ります。

市民と職員の両方の立場にいるわけですが、「市民の意見を聞きましょう」という場を設けた時、市民がお客様になり、行政が事務局のような立場になって聞いただけ聞いて、「こうなりました、はい、そうしましょう」ではダメだと思うんですよ。例えば、そういう話し合いをしている時に、行政からきちんと意見を言っていくとか、行政はどんなサポートを求めているのかとか、どこを目指しているのかということ、はっきりと市民に示すべきだと思います。

「りぶら」が市民と行政が繋がる場所になって、市民の役に立つ、愛される、そういう場所になっていけばいいですね。

一岡崎市はトヨタショックがあったといえ、まだ財政的にも比較的裕福で生活に対する危機感がないといえますか…。

米津：何かあったら市がやってくれるという気持ちがあるんでしょうね。岡崎市はいままでやってこれたので、市民はそういう危機感を意識しにくい部分があるかもしれません。現状に満足していて、これ以上何をするんだと思うこともあるかもしれませんが、現状としては、孤独死もあつたりします。

つまり、自分がそうなると思っていないので、いざそうなった時にはどうしようもない。そんな時になって初めて、なんとかならんかなあと思って遅いというわけですね。

私が子どものころは、地域との結びつきが強く、地域に『人』がいたという感じがします。活動だつてそこにしかなかったわけで、みんな一緒に生活していたし、それによって横の繋がりも強かったですね。

結局のところ、「自分たちのことは自分たちでしようよ」ということなんです。自分の住んでいるところは、今は帰って寝るだけの場所かもしれない。でも、会社を辞めた後、終の棲家になるのは地元なんです。そうなった時に、地元が住みやすい楽しい居場所だった方がいい。夫婦二人だけの生活になって、奥さんに抑えつけられててもね（笑）。

一行政から見て、市民活動団体とは？

米津：私としては、とても頼もしいものだと思っていましたよ。現在、行政ですべてやるということは難しくなってるんですね。市民の力を借りていかなければならない時代がきた。それに応えうる市民活動というものが、現われてくるかと思っているのです。

と言いながら、誰かがやろうとすると、行政側としては規制をかけたりするんですが、私は、市民協働・市民活動の最終目的は『市民自治』だと思っているのです。今活動している方は、どうしても「志」の面で繋がった、自分たちが興味を持つことについて、何かやっつていこうとしていますよね。もう少し、地域の、地元の人たちも「自分たちの住むと

ころは自分たちでなんとかしよう」という気持ちを持つと、もっと変わってくると思います。

総代さんとか、ある一部の人たちだけではなく地元全部で。NPOの人たちも一緒になって、地域に関わっていない人にこそ、広げていく。そうすれば『市民自治』に繋がっていくと思うんですよ。

一今のりぶらについてどう思いますか？入館者も予想以上に多いようですが。

米津：今のりぶらはまだよくわかっていないんですよ、まだ3日目だから。でも、こういう公共施設に、それを盛り上げるような市民の団体があるっていうのは、他にはないじゃないかと思えますね。市民団体が何か企画して、提案・実施してくれるところまで関わっているのはあまりないですね。

しかし、入館者が増えればそれでいいのか、という問題はあります。それを維持していくためには何が一番有効な方法かということを考えること、それは今考えなきゃいけないことでしょうね。

もちろんそれは行政だけが考えてもダメなので、市民の人たちがどのようなことを考えていて、どういうことを求められているかという声を聞いた上で、参考にして改革をする。そういうことが大切だと思えます。

ここで「行政がやってくれるからいいや」といってしまえば、それこそ終わりで、常に市民が行政に関心を持ち、積極的に参加しながら一緒に考えていくという土俵ができれば、にぎわいのある「りぶら」がずっと続いていくのかなと思います。

一それが、ひいては市民自治に繋がるといふ？

米津：そうですね。市民の人たちみんなが思いやりの心を持つというか、「だれかがやってくれるからいい」ではなく、もちろん「自分が自分」でもなく、自分も一緒に地域に住んでいる人たちも、みんなが協力し合つて活動できればいいなと思います。

そういう気持ちになれるようなネットワークを作れたらいいと思いますね。

一図書館というのは、米津さんにとってはどういうものですか？

米津：実はまだよくわかってないです。これからいろいろと先輩たちに話を聞いたり、それこそ勉強している市民の方のお話を聞いたり、そうやって図書館のあるべき姿ってどんなものなのかな、と今から勉強していこうと思っているんですけどね。

一「りぶら」利用者の8割が図書館利用者だという数字が出ています。その図書館利用者と、市民活動の場として「りぶら」を利用している人との繋がりがあまりないという状況があります。ここの壁一枚を取り払うのは、何かなと思うのですが。

米津：複合施設として図書館という集客施設があつて、そこで図書館を利用している人がたまたま市民活動を見て、魅せられて、じゃあ入ってみようかな、ということはあつてもよさそうですね。

やっぱり、図書館を外して「りぶら」はないわけですし、核施設は図書館なので、活動との境界線は何なのか、というものを見つけてなんとかするというのが館長としての一つの課題でもあります。

りぶらには、図書館と文化創造・活動支援・交流という4つの機能があるわけですから、総合的に施設をどう作っていくかという、そこを考えなければ私がいる意味がありません。

一三年後・十年後のりぶらはどうであつてほしいと思いますか？

米津：「市民のために、市民とともに育てていくりぶら」という目標を掲げてもいいかな、と思っています。そういうシステムができていいなあと思えますね。そういう面ではサポータークラブには大いに期待しています。

十年後には、りぶらはりぶらと意識されない、町になじんで人々になじんで、そこにあるのが当然の施設であつてほしいですね。

私の一冊 vol.7 『太陽の世界』 半村良著（角川書店）

学生時代、半村良の伝奇ロマン小説をよく読んだ。「黄金伝説」などの伝説シリーズや「妖星伝」などが印象に残っている。「とてつもないフィクションを、さも実際にあったように読者をだますことができるかが作家の技量」といった趣旨のことを、語っていたことを記憶している。

そこで、私の一冊として、半村良の「太陽の世界」を挙げたい。これも大学時代に読み始めたのだが、文庫本で14巻まで買ったところで読むのをやめてしまった。しかし、内容の面白さは記憶に残り、りぶら開館後に借りて、全18巻を読み返した。

物語は、理想の土地を求めて旅を続ける一族アムが、超能力を持つモアイ族と出会い、一体化して東の果ての地でラ・ムーという国を作る。神が生まれ、国が順調にその基盤を広げる一方で悪魔が生まれる。他国とも関わりながら社会が形成されていく過程で、人々の営みが広く深く描かれている。超能力をもった部族の伝説的な面白さに始まり、時代が進むにつれ、人間の欲やねたみ、夢や一途な思いなどが絡まり社会が成熟していく。作者の洞察力にうなずきながら、社会の底の深さが実感できる物語である。

しかも、この物語の最初には「遠い昔、ムーと呼ばれる大陸があった。ムーは海中に没した」と、この国の滅亡の予言が記されている。作者はそこまで書き進めるつもりで構想を練ったに違いないし、数十巻に及ぶだろうとも語っている。しかしながら、18巻で絶筆になっている。この国は、どのような運命を持って滅亡にいたるのであろうか。作者がどのように物語を展開させたかったのか、私には想像もできないが、そのスケールの大きな物語の中に現代社会を投影させるとき、滅亡への道のりを予感することがある。古い本で入手は難しいが、中央図書館には全巻ある。



米津 眞 (よねづまこと)

ご案内

りぶらサポータークラブ 平成22年度総会 & 講演会

5月22日(土) 場所: Libra 301・302 会議室

13:30 ~ 平成22年度総会

14:30 ~ 講演会: 森下芳則氏 元田原市図書館長

テーマ

「いい街づくり 役立つ図書館」をめざして

講師プロフィール

1973年東京で図書館員として働き始め、1977年から日野市立図書館勤務。1999年から田原市生涯学習センター建設準備室で新聞発刊の準備に当たる。2002年田原市図書館長に就任。

16:00 終了予定

「りぶら」に先立ち、設計・施工段階で9回のワークショップ(情報広場)を開催して、市民ニーズを反映させた図書館として平成14年8月にオープンした田原市図書館。設計段階から今年3月まで館長を勤められた森下芳則氏に、「住民と共に歩み続ける図書館」「生涯学習拠点としての図書館」についてお話を伺います。

参加費無料

いっしょにやろまい!

ibra
同城市図書館交流プラザ
2010

お問い合わせ

りぶらサポータークラブ事務局
同城市図書館交流プラザ市民活動センター内
TEL/0564-23-3114 FAX/0564-23-3142



りぶら読書マラソン 東海道八十次

2010
国民読書年

5月15日(土)
9:00 スタート!



「読書マラソン」シート
を利用して、読書記録を
始めましょう。

東海道五十三次と
岡崎二十七曲りを、
自分のペースで歩こう!

じゃあ、読もう。80冊!

※ 東海道の中でも三浦目に規模の大きい宿場として栄え久曾宿は、「岡崎の二十七曲り」と呼ばれ、歴史的に多い町並の長さでも有名でした。「りぶら読書マラソン東海道八十次」は、「東海道五十三次」と「岡崎の二十七曲り」を加えて、八十次としたものです。

図書館の
貸出カウンターで
もらえるよ



主催: りぶらサポータークラブ 協力: 同城市立中央図書館
問合せ: りぶらサポータークラブ事務局 TEL:23-3114 (市民活動センター内)

岡崎市図書館交流フラザ 乳幼児室のご案内

【一般のご利用】



りぶら2階の南側にあるプレイルームには、ベビーベッドやおむつ替えコーナーも備えてあり、小さいお子様と遊んだり、保護者の方が休憩することができます。

併設の授乳室にはソファやポットがありますので、ゆったりと安心して、調乳や授乳をすることができます。

りぶら開館時間中（託児時間を除く）はどなたでもご利用できますが、お子様には必ず保護者の同伴をお願いしています。

【託児事業】

乳幼児室では、首のすわったところから未就園までのお子様をお持ちの方に、図書館を利用したり講座等の受講がしやすいように【託児事業】を行なっています。

《図書館利用者のための託児》

図書館利用者のための託児を、市民活動団体「りぶらっこ☆ふぁみりー」が行なっています。

活動時間：毎週月・金曜日の午前10時から11時30分まで

料 金：1回500円

（講座などで延長を希望される場合は、正午まで30分の延長を行なっています。延長料金は200円です）

定 員：10人。事前に予約が必要です。

申込み：所定の手紙で直接、またはTELかFAXで。

問合せ：市民活動センター TEL:23-3114 FAX:23-3142

《男女共同参画講座等受講者のための託児》

市民活動総合支援センターでは、男女共同参画推進のための講座や講演会を実施していますが、その際、子育て中の方にも参加しやすいように託児を行なっています。料金は無料ですが、講座申込の際に託児希望の明記が必要です。



【託児中の一般のご利用について】

託児中は、一般のご利用はできませんが、授乳やおむつ替えは、託児中でもできます。
（託児スケジュールは乳幼児室に備えてある一覧表か、ホームページでご確認できます）

りぶら中央図書館情報

ご存知ですか？ こんな図書館サービスがあります

【テーマ展示】

図書館では、お客様からの図書に関するご質問に日々対応する一方、何らかのテーマを設定して、それに関連した図書を専用スペースに見やすく展示しています。テーマは、季節の風物や、ニュースで話題になったできごと、作家の生誕・没後の周年記念のほか、図書館ボランティアさんからのご提案や、りぶらで開催されるイベントに合わせたものなど、さまざまです。何気なく来館されるお客様などから、「そうそう、今こういうのを読みたいと思っていただんだ！」と満足していただけるよう、図書館職員の腕の見せどころとして奮闘していますので、ぜひ足を停めてご覧になってくださいね！



このほか、ティーンズコーナーでの展示やガラスケースで希少資料等の展示も行っています。
※ポピュラーライブラリーで行うテーマ展示は、図書館ホームページでもご覧いただけます。
<http://www.library.okazaki.aichi.jp/tosho/collection/month.html>

レファレンス事例集④

岡崎市立中央図書館でこれまでに受けた資料相談事例を紹介します。

「へえ～、図書館でそんなことがわかるの！」と感動(?)できるネタ満載ですよ。

質問	戦前の岡崎市立図書館の位置を知りたい。
回答	岡崎公園内西北隅にありました。
プロセス	「岡崎市立図書館竣工式記念雑誌」p.10より、岡崎公園内にあったことはわかるが、正確な位置の記載はない。 「愛知県岡崎地方史文献総覧」p.101に、「岡崎市（大正11年）」からの引用で、岡崎公園内西北隅という記述があった。 「岡崎市都市計画資料」の公園計画の項目に岡崎公園の図があり、公園内の西北隅に図書館が記載されていた。
参考資料	「岡崎市立図書館竣工式記念雑誌」 柴田顕正/編集発行 1923 「岡崎都市計画資料」 岡崎市役所/発行 1930 「愛知県岡崎地方史文献総覧」 小林清司/編集発行 2001 「岡崎市（大正11年）」 岡田太郎次郎/編 1922

国立国会図書館レファレンス協同データベース<http://crd.ndl.go.jp/GENERAL/servlet/common.Controller#>より

りぶら中央図書館情報

岡崎むかし館展示情報

「懐かしの道具—カメラ・オーディオを中心に」

6月15日（火）まで、りぶら1階岡崎むかし館で開催中

今ほどコンピュータやロボットの技術が発達していなかった頃の懐かしい道具として、カメラ・オーディオを中心に展示紹介しています。蓄音機や二眼レフカメラなどに見られる人間の知恵と工夫から、当時の生活を思い描いてみてください。

期間中の館内イベント情報

5月15日（土）午後2時～（約30分）
「蓄音機でレコードを聴こう」（入場自由）

6月12日（土）午後2時～（約30分）
「日光写真で遊ぼう」

※当日受付、先着10名程度



りぶら映像アーカイブス

岡崎市立中央図書館2階の視聴覚ブースでは、ビデオやDVDなどの館内資料だけでなく、年代別にアーカイブ化された岡崎に関する貴重なニュースや番組映像を視聴することができます。懐かしい映像のなかに、ひょっとして、あなたも登場しているかも？！

4月より、動画58本と静止画120点を追加して、アーカイブスをさらに充実させました！

紹介映像④「台風23号の被害」

NHKニュース放送年：昭和46年(1971年)



1971年8月30日より、台風23号の接近で集中豪雨に見舞われた東海地方。岡崎市始まって以来の記録的な降水量(2日間で433ミリ)となり、被害も甚大なものでした。

映像には、不通になってしまった国鉄岡崎駅や、菅生川河川敷に駐車していた自動車が増水した川面になすすべもなく何台も浮かんでいる様子が映されています。災害の恐ろしさが伝わってくる映像です。

りぶらイベントカレンダー

市主催の事業

こども図書室のイベント 23-2311			
毎週火曜日	11:00~11:30	おはなし会 赤ちゃんとその家族	■無料・おはなしのみり ころころくまさん
毎週木曜日	11:00~11:30	おはなし会 赤ちゃんとその家族	■無料・おはなしのみり ころころくまさん
毎週木曜日	16:00~16:30	おはなしと紙しばいの会	■無料・職員
毎週土曜日	14:30~15:00	3歳からの読み聞かせ	■無料・おはなしのみり ころころくまさん
第2・4月曜日	16:00~16:30	おはなしと紙しばいの会	■無料・職員
月1回土曜日	13:00~	外国語の読み聞かせ	■無料
第4土曜日	15:30~16:00	ストーリーテリングにおいてよ!	■無員・職員
内田ジャズコレクション TEL23-3167 Fax23-3165 メールdr-jazz@m2.catvmics.jp			
毎日2回 10:00/19:30	毎日がジャズ!レコードコンサート ~伝説のドクターズ・スタジオで、ジャズレコードを試聴		■内田ジャズコレクション展示室 ■無料 ■リクエスト用紙に必要事項を記入してスタッフに 申込/メール・ファックス可
岡崎むかし館 TEL23-3167 Fax23-3165			
第4木曜日	16:30~17:00	岡崎のむかしばなし・紙芝居	■無料 岡崎むかし語りの会
6月12日(土)	14:00~	日光写真で遊ぼう	■当日受付 ■先着10名程度
3月25日(木)~ 6月15日(火)	岡崎むかし館企画展 「懐かしの道具~カメラ・オーディオを中心に~」 昔懐かしい蓄音器、トランジスタラジオ、二眼レフカメラ などを展示します		■岡崎むかし館
岡崎市図書館交流プラザの催し 23-3100			
5月15日(土)	15:15開場 15:30開講	守屋順子ジャズ講座 ...これからジャズを楽しむための 入門講座...	■ホール ■参加料:学生・女性1,000円 男性1,500円 ■未就学児の託児あり(チケット購入時に申込) ■3/6よりチケット販売開始 取扱場所:総合案内
8月8日(日)	①13:00開演 ②15:30開演	井上あずみ&タマトミカ コンサート ~親子で楽しむ音遊び~ ♪さんぽ、となりのトトロ、君をのせて、 うさぎの大脱走 ほか	■りぶらホール ■一般2,000円中学生以下1,000円 ■チケット発売日:4/29~ 図書館交流プラザ総合案内または チケットぴあ 0570-02-9999【Pコード104-137】
市民活動総合支援センターの講座 23-3241 申込先:市内康生通西4丁目71番地			
5月16日~ 6月6日 毎週日曜日 全4回	10:00~12:00	【りぶらのイク(育)メン講座】 育児中のパパ・プレパパ向けの 育児講座	■2階創作室ほか ■1,500円程度 ■市内在住・在勤の男性で4回とも参加できる方 ■24人(抽選) ■一時保育あり ■往復ハガキで申込(4/30必着)
5/16・30, 6/13・ 27, 7/11・25, 8/1・8 日曜日 全8回	13:30~16:00	【男の華道(はなみち)講座】 男性のための華道講座 初心者向け 講師:池坊准華督 鈴木郁雄氏	■2階創作室 ■8,500円 ※前回受講者はテキスト代不要 ■市内在住・在勤の男性で全日程参加できるかた ■18人(抽選) ■往復ハガキで申込(5/8必着)



中央図書館 23-3111 申込先:市内康生通西4丁目71番地			
5月～ 平成23年2月の 毎月第3月曜日	13:30～15:30	図書館講座 「学びながら古文書を読もう！ 翻刻ボランティア養成講座」 講師:高橋利夫氏 (岡崎古文書研究会会員)	■303会議室 ■35人(抽選) ■往復はがきで申込(4/23必着) 済
りぶら国際交流センター 23-3148 申込先:市内康生通西4丁目71番地			
5月9日(日) 14:00～16:00		ワールドレクチャー ネパール 日本語で母国の紹介	■無料 ■定員40名 ■電話で申込(4/11～)
5月14・21・28日(金) 14:00～16:00		ことばの教室(グルジア語)	■無料 ■定員18名 先着順 ■電話で申込(4/11～)
5月16日(日) 14:00～16:00		キッズセミナー・中国 親子で「上海風胡麻あん団子」を作る 講師:謝浩波氏	■1組500円 ■2階調理室 済 ■定員10組20人(抽選) 小学校3～6年の親子 ■往復はがきで申込(4/30必着)
5月30日(日) 11:00～13:00		多文化紹介セミナー・タイ料理 「トムカーガイ(鶏肉の酸味ココナッツ)」	■500円 ■定員20人(抽選) 済 ■往復はがきで申込(4/30必着)
6月6日(日)14:00～16:00		ワールドレクチャー タイ 日本語で母国の紹介	■無料 ■定員40名 ■電話で申込(5/9～)
6月8、15、22(火) 10:00～12:00		ことばの教室(韓国語)	■無料 ■定員18名(受講経験者不可) ■電話または直接申込(5/16～)
6月13日(日) 14:00～16:00		多文化紹介セミナー・グルジア料理 チキンスープとチーズパンを作ります	■500円 ■20名(抽選) ■往復はがきで申込(5/28必着)
6月20日(日) 14:00～16:00		リビングガイドセミナー	■500円 ■20名(先着順) ■ブラジルの方対象 ■直接申込
6月27日(日) 14:00～16:00		日本文化教室 「五万石踊り」を紹介	■無料 ■英・ポ・中の通訳あり ■直接申込 ■外国の方対象

市民団体の定例活動情報

団体名	日時	内容	場所	連絡先
童謡・唱歌の会 はなみずき	月3回金曜日 10:00～	■歌うことの好きな方 初心者大歓迎、お友達づくりに♪	スタジオ1	アクア事務局 080-3615-1349
アロマヨガ	隔週月曜日 10:00～	■香りに包まれてヨガをしよう	スタジオ1	おかげLOHASの会 柴田090-6597-5588
おとなが楽しむ 朗読の集い	第2・4火曜日 18:30～20:00	■あなたの声を活かして、本を読んでみませんか	201会議室	■500円(飲物お菓子つき) まみむめもクラブ 築25-5197
気功太極拳	毎週木曜日 10:00～	■始めてみませんか 気功太極拳	スタジオ1	日本健康太極拳協会 岡崎鶴の会21-1658
楊名時太極拳 りぶら教室	毎週火曜日 10:00～11:30	■ゆっくり動き、深い腹式呼吸で気血の流れを促進し、健康な身体作りをしましょう	スタジオ1	りぶら教室 師範 村松美智子58-3396
日本画研究会	毎週木曜日 14:00～16:00	■日本画、水墨画を描いてみませんか	創作室	日本画研究会 連絡先:稲森52-0719
3Bふれあい ビクス	隔週火曜日 10:30～	■3Bふれあいビクス	りぶら	■未就園児親子 ■電話・ファクスで 森 TEL・FAX55-2274
Photo翔	月1回金曜日 18:30～21:00	■撮影技術の向上、作品の公開	会議室	Photo翔 藤田 45-7797
時事英語学習会	毎週土曜日	■時事英語の学習	りぶら	■月4,000円 電話faxで 杉浦43-6812

その他のイベント情報		LSCの事業です			
日付	時間	催事名	場所	主催・問合せ先／その他	
4～9月の第3金曜(全5回)	10:00 0歳児 11:00 1・2歳児	3Bキッズランド(ベビー親子ふれあい体操)前期	りぶら	共通■2500円 ■電話・FAXで ■鈴木 TEL・FAX43-4785	
5月6・20日 6月3日 7月1・15日	10:30～11:30	子育てママの体操 おやこでピクス	りぶら	■15組 ■1500円(全5回) ■電話faxで 市川53-5676	
①5月7日(金) ②6月4日(金) ③7月2日(金)	18:30～20:30	マンスリー・イングリッシュ・サロン 英語で各国を紹介 ①ディバ・バイト(パキスタン) ②ホセ・マルチネス(スペイン) ③ラクシュミ・クマール(ネパール)	りぶら	■1500円(3回分) ■20人 ■往復はがきで 444-0921 中岡崎町7番地4 成瀬 TEL28-0077	
5月11日(火) 5月27日(木)	13:00～15:00	アートセラピー(風景画法)体験 色、モチーフの意味を謎解き、今の自分に 気付きましょう	201 会議室	■800円 ■8名 どなたでも ■ナチュラルセラピーネットワーク 虹のたね 神谷 080-3611-8809	
5月13日(木) 6月10日(木)	10:00～12:00	スポーツ吹矢 無料体験会 礼の心とスポーツ吹矢式呼吸法	りぶら	■各15人(先着) ■電話・FAXで ■日本スポーツ吹矢協会 安井 TEL43-6812	
5月13日(木)	10:00	発達障がい児サークル かめのともだち 勉強会「周囲の対応と接し方～高機能自 閉症・アスペルガーといわれる子ども達」 愛知教育大学准教授 吉岡恒生氏、川瀬実咲氏	りぶら	■30人 ■500円 ■電話で ■きじま TEL090-1754-2312	
5月16日(日)	13:30開演	いのちの博覧会 妊婦さん歓迎 ～いのちのメッセージおはなし会～ 第2弾 せのおまさこ	301～303 会議室	■どなたでも参加OK。学生大歓迎 ■100名先着順 ■いのちの博覧会実行委員会 水野雅子 090-3564-3416	
5月21日(金)	14:00・16:00・ 19:00開演	神山征二郎監督作品 映画「鶴彬 こころの軌跡」上映会	りぶら	■前売り800円、当日1000円 ■電話・FAXで ■小出 TEL・FAX 45-2436	
5月22日(土)	14:30～16:00	森下芳則氏 講演会 「いい街づくり 役立つ図書館」をめざして	301・302 会議室	■問合せ:市民活動センター内 りぶらサポータークラブ 23-3114	
5月23日(日) 6月27日(日)	10:00～	キッズイングリッシュ ■500円 ■各15人 ■小学1～4年生	りぶら	■箕浦TEL080-1551-1967■E-mail ryoko-may14@docomo.ne.jp	
5月30日(日)	13:30～	お金を払っても聞いておきたい保険の話 ファイナンシャルプランナーが教える これからを生き抜く基礎知識	201 会議室	■1,000円 ■セミナー定員20名 ■FP事務所 MoneySmith 吉野裕一 ■TEL・fax 22-6020	
5月31日(月)	10:30～11:30	親子でリトミック	スタジオ1	■500円 ■定員25組 ■市民活動センター内 りぶらっこ☆ファミリー 23-3114	
6月5日(土) 6月7日(月)	10:00～12:00 13:00～15:00	目からウロコの子育て STEP 説明会	302 会議室	■500円 ■定員20名 ■勇気づけの子育て陽だまりの会 hidamario9@live.jp	
6月10日(木)	13:45開場 14:00上映	第5回 シネマ・ド・りぶら 映画上映会 『道』 13:15から番号札を配布します	ホール	■問合せ:市民活動センター内 りぶらサポータークラブ 23-3114	
6月20日(日)	19:30～20:30	空き缶ドルナイト	プロムナード	■問合せ:市民活動センター内 りぶらサポータークラブ 23-3114	

庭で遊ぼう

…100万人のキャンドルナイト in りぶら…



缶ドルナイト2010.6.20



キャンドルの優しい光を感じませんか？

今回で3回目の空き缶(アルミ缶)を利用した手作りキャンドルナイト！
20分ほどの作業でオリジナルの缶ドルを作成して、素敵な夜と一緒に楽しみませんか？

空き缶ドルの制作 … 350mlのアルミ空き缶をお持ち下さい、他の材料は用意してあります。

6月1日(火)～6月20日(日) 随時:空き缶ドルの作成 (市民活動センター) 無料
制作した空き缶ドルは、缶ドルナイトの実施後、必ずお持ち帰りください。

空き缶ドルナイトの実施

6月20日(日) 19:00～ 市民活動センターに集合
19:30～20:30 空き缶ドルナイト実施 (「りぶら」東のプロムナードを予定)
6月21日(月)は夏至の日です。ご自宅で、電気を消してスローな夜をお過ごしください。

庭で遊ぼう プロジェクトから … オススメの本紹介



『ひと目で見分ける287種 野鳥ポケット図鑑』

新潮文庫 久保田修／著

「あっ、赤い鳥！」「あれはコマドリだね。ヒーン、カラカラカラって鳴くんだよ」すぐ使える!! 山歩き・ハイキングの楽しみが増える一冊。
バードウォッチングだけでなく、ウォーキング途中や公園で出会う野鳥たち。せっかくなら見つけても、名前がわからずに歯痒い思いをした経験はありませんか。そんな時にこの一冊!! 観察しやすい287種の野鳥が綺麗なイラストで紹介され、鳴き声での分類や生息地域を記した分布図等々、文庫とは思えない綺麗な装丁にビックリ。アウトドアに必携の一冊となるでしょう。

「りぶら」周辺では、スズメの他、カラス(ハシボソガラス、ハシブトガラス)、ツバメ、イワツバメ、キジバト、ヒヨドリ、ムクドリ、カワラヒワ、メジロ、シジュウカラ、ヤマガラ、エナガ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、カワウ、カワセミ、コサギ、アオサギ、ゴイサギ、ササゴイ、カイツブリ、イソシギ、オオルリ、キビタキ、ツグミ、シロハラ、ヒンズイ、アオジ、コガモ、オナガカモ、ヒドリガモ、マガモ、イカル、シメ、ヒレンジャク、キレンジャクなどに会うチャンスもあります。どんな鳥か、どこにいるか、探してみましょう!



りぶらサポータークラブ平成21年度の総括

平成21年度の方針

平成21年年3月24日に、りぶら・LSC・りたの三者会議を開催し、りぶらサポータークラブの運営、主に「LSCとりたの役割分担(事務局機能含む)」と「LSCの平成21年度方針」について話し合い、平成21年度の事業を以下のように進めていくことが決まりました。

1.りたとLSCの役割分担(事務局機能含む)

「基幹会議(役員会、運営委員会、総会)」の企画・運営・記録までをLSCメンバーで責任を負う。全体事業のうち、「全館交流イベント(年1回)」と「フォーラム(年2回)」は、りたがコーディネートする(マンパワー支援含む)。「対話集会・プロジェクト紹介・広報実務」は、LSCで責任を負う。

2.りぶらサポータークラブ運営方針

1)コーディネーターの育成

コーディネーターとしての専門技術をもつスタッフの養成に努める。スキルアップのプログラム実施に関しては、りたからも支援をもらう。

2)りぶらの2大ミッション(生涯学習拠点、中心市街地活性化拠点)を具現化する

市内全域の生涯学習活動が活性化するための活動を計画実行する。中心市街地活性化に寄与する活動を計画実行する。

3)アドボカシー活動の確立

りぶらの運営に関する市民提言活動を確立する。提言活動のためには、適切な情報収集、調査、分析が必要なため、行政に協力をお願いする(りぶら職員らのヒアリングやアンケート含む)。

3.平成21年度の事業区分

1)役員会

2)運営委員会

3)全体事業(愛フェス2009・講演会・冬のコンサートなど)

4)プロジェクト(交流・広報・研究・施設活用・活動育成)

4.平成21年度の目標

本来なら、ここに「平成21年度の目標」が設定されるところですが、会則にあるLSCの目標を前提としていましたので、年度目標を設定しませんでした。

結果と課題

1.りたとLSCの役割分担

結果：「りぶらフォーラムⅢ・Ⅳ」と「りぶらまつり」の実施を「りた」に委託するという形で、役割分担をはっきりさせることができた。その他の全体事業や機関会議の事務局機能も、おおむね「りた」に頼らずに運営できた。

課題：「委託」がほぼ「丸投げ」になってしまい、LSCとしての、フォーラムやりぶらまつりの実施方針や目的を明確に打ち出すことができなかった。

2.運営方針

1)コーディネーターの育成

結果：「運営委員会」を承認機関とすることで、運営意識の格差をなくし、コーディネーターとしての運営委員のスキルアップを図ったが、会議の場では、運営意識の格差をなくし、円滑な会議を進めていくことが難しいことがわかった。

課題：次年度は会議形態を変更し、会員研修を実施する。

2)ミッションの具現化

結果：プロジェクト活動はおおむね計画通りに進行し、それぞれの目標も達成された。

課題：りぶらに必要な活動と個人の目標の仕分けをはっきりさせることが必要。

3)アドボカシー活動の確立

結果：事業の実施に追われ、提言活動を進めることが難しかった。

課題：施設活用活性化の事業と、提言のための研究プロジェクトをしっかりと分けて取り組んでいきたい。

3.平成21年度の事業

結果：別紙「平成21年度活動報告書」参照
※市民活動コーナーで閲覧できます

4.平成21年度の目標

結果：事業の実施(プロジェクトの推進)は、一定の成果を上げることができたが、運営の進め方や事業の実施について、やはり年度の目標設定が必要である。

りぶらサポータークラブ2010

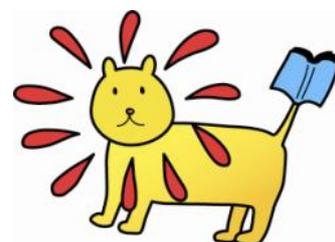
22年1月に開催した「対話集会」において、LSCは「りぶら」のパンフレットにある「4つの機能（図書館・活動支援・文化創造・交流）」をサポートするという意味で、4つの機能に添った事業展開がふさわしいということになりました。

そこで平成22年度は、「りぶらサポータークラブ」の運営・広報・研究の他に4つの機能に分類した事業を企画し、「りぶら」を利用するみなさんのお役に立てるような活動をしていきます。

りぶらサポータークラブの事業	図書館	今年は、「国民読書年」です。東海道五十三次・岡崎二十七曲にちなんで、「読書マラソン」を企画・実施します。（岡崎図書館未来企画）
	活動支援	ボランティアの育成とマネジメントをおこないます。（ボランティアを育む会）
		子育て中のお父さんをサポートする企画を実施します。（チームHAPPY! パパ）
	文化創造	講演会の企画・開催をします。
		定期的な映画の上映会を開催します。（シネマ・ド・りぶら）
	交 流	11月13・14日に、「りぶらまつり 2010」を実施します。
		対話集会（りぶら交差点）を開催します。みんなで「りぶら」について考えましょう。
		外国人が日本語の歌を歌う「のど自慢大会」を実施します。
		「空き缶ドルナイト」・「いきものみつけ」等、庭やりぶら周辺を利用した活動をします。協働企画も実施します。
		りぶらを活用した協働企画を実施します。（冬のコンサートなど）

この他にも「りぶらサポータークラブ」は、情報誌の発行、ホームページの運用、りぶらグッズの開発・販売、評価指標づくり（岡崎図書館未来企画）、利用者行動観察、りぶら市民セミナーといった種々の活動を通じて、「りぶら」を利用する皆様のお役に立つべく日々努力してまいります。

※ 2009年度にりぶらサポータークラブのプロジェクトとして活動していただいた「つながろう“いのち”」「岡崎むかし語りの会」「りぶらっこ☆ふぁみりー」「ひざ掛けづくり」「デジタル映像研究Ⅱ」はそれぞれ成果を上げ、今年度から独立して活動していくことになりました。今後は、りぶらまつりや市民セミナーに参画したり、協働事業として、ともに「りぶら」の施設活用をサポートしていきたいと思っております。



りぶらいおん©LSC



2010年2月27日、28日。記念すべき第1回目のりぶらまつりが行われました。7ヶ月以上の準備期間を経て、ようやく開催にこぎつけたりぶらまつりの様子をお伝えします。

りぶらまつりができるまで

りぶらフォーラムⅢ (2009.7.18)



実行委員会① (2009.8.29)



実行委員会② (2009.10.3)



すべての始まりーりぶらフォーラムⅢ 2009.7.18

2009年7月18日、りぶらまつり2009はここから始まりました。りぶらホールに参集したりぶらサポータークラブの会員をはじめ、100名余りの参加者一人ひとりが、りぶらまつりに向けて、「何をしたいか」、「何が出来るか」を考え、個々のアイデアを重ね合わせていきました。この日の議論をまとめた延藤先生(愛知産業大学大学院)により、「つながりんぐ」というキーワードが出されたのもこの日でした。

8つのグループの構築ーりぶらフォーラムⅣ 2009.11.23

8月、10月の実行委員会を経て、テーマによって構成された8つのグループが生まれました。11月23日に行われたりぶらフォーラムⅣでは、グループごとに「イメージカラー」「キャッチコピー」「魂ワード(グループの魂を表す漢字一字)」などを決め(Libra I on Vol.5参照)、りぶらまつりに向けて徐々に臨戦態勢を整えて行きました。

みんなをつなげる輪：つながりんぐ



りぶらまつりができるまでのプロセスで、スタンプラリーの景品や、船の巨大オブジェの材料提供、インターネットメディアによる情報発信、りぶらまつりの題字執筆、つながりんぐの実体化など、偶然のような、奇跡のようなつながりにより、必要なもの、足りないものが補われて形になっていく様は、まさに「つながりんぐ」と呼ぶにふさわしい3ヶ月でした。そして迎えたりぶらまつり当日。天気予報を見事に覆し、これ以上ない天候に恵まれたのは、参加された皆さんの想いが通じたのかもしれませんが。100名弱の実行委員にとっては、新たな人々、市民団体、企業、行政との出会いと協働経験、そしてそれに基づく“つながり意識”が芽生えるきっかけとなり、ご来場していただいた18,000人余りの方々には、およそ50に及ぶ市民手づくりの体験型イベント、講座、展示、コンサートなどを通じて、新たな人々や活動との出会いが生まれるきっかけとなったのではないのでしょうか。7月にりぶらまつりのキーワードとして生まれた「つながりんぐ」は、りぶらまつり当日、実際に参加者を「つなぐリング」となり、りぶらまつりの会場を隈なく巡りました(表紙・右頁参照)。

ご協力、ご参加いただいた皆さま、本当にありがとうございました。

**りぶらまつり2010
第1回実行委員会
のお知らせ**

- 日時:6月12日(土)9:30-12:30
- 場所:りぶら 会議室301・302・303
- お問合せ:実行委員会事務局 Tel 0564-23-2888 (NPO法人岡崎まち育てセンター・りた)
- 対象:「りぶらまつり2010」を一緒に創っていきたい方々



りぶらフォーラムⅣ (2009.11.23)



実行委員会③ (2010.1.16)



団暖弾 (だんだんだーん)



▶ ストリート広場には「食」と「技」の青空市場が出現。



▲ 2日目はみんなで朝の体操。



◀ プロムナードではよさこい踊り。

夢をかたちに

▶ ホールには、親子で楽しめる体験ブースがところ狭しと並びました。



◀ ステージではコンサートのほか、布ぞうりの体験コーナーも。

ラブック

▶ 老若男女問わず、本好きな人々が集った図書館グループ室。



◀ ホールホワイエでは、一箱古本市が開催されました。

とびだすガチャどん

▶ 籠田公園ステージで出会ったダンスグループとパチリ。

◀ 手作り楽器と衣装で、りぶらから籠田公園までちんどんパレード!!



NPOえんにち



▲ 市内で活躍する市民団体、企業、行政、学生が活動をPR。

▲ お城通り、お堀通りが縁日空間に変身。

アーティスティックさろん



◀ みんなで作ったお堀通りの巨大雛飾りとつるし雛。

▶ 宝船の巨大オブジェには、一人ひとり願い事を結び付けました。



のんびりぶら



▼ 3階テラスの被災体験コーナー。

▲ 3階の和室や会議室では、講座、コンサート、手品などイベントが目白押し。



総合サポート

▼ 会場の案内から、ボランティアコーディネートまで、縁の下の力持ち。



▲ 各グループを巡るスタンプラリーも大盛況!



実行委員会④ (2010.2.13)

つながりんぐのきろく



りぶらまつり2009 (2010.2.27-28)

コラムの視点

鈴木 隆

初めてコラムを担当させてもらえることになり、あらゆる乏しい知識をひけらかして文章に起こすときにふと思ったことが、コラムの視点をどこに置くか、ということだった。ぼくはコラムニストじゃないし、上から見るのもなんだかなーと思ったかと思えば、ただ大衆目線で書いたら、それはそれで感想文になっちゃいそうだしなーと、四苦八苦していたのだった。そこで閃いたのが、「今回はコラムについてのコラム」を書こうということだった。

もともとコラムは評論であり、エッセイは随筆。前者は「自分の意見を書きまとめる」、後者は「自分の思いを書く感想文に近いもの」と思っていた方がわかりやすいだろうか。エッセイの視点は書き手の内部にあって、そこから文を繋げてく。しかし、コラムの視点は外にあり、客観視できることが前提で、そこから自分の意見を繋げていく。なんだか文に起こしたら、ものすごく難しそうなのがしてきた。恐るべしコラム。

それで、今回の主題であるコラムの視点はどこにするかという点に戻るが、ぼくがこの文章を書いている間に出した答えは、「単純にぼくが目線で書けばいい」ということだった。

理由は単純明快で、個人的に上から見る文は好きじゃないし、大衆目線で書くのも偏屈気味のぼくには難しい。だったら、自分の目線でみなさんが楽しんでくれるものを書けばいいじゃん、という結論に至ったのだ。

この文中でのぼくの成長は半端ないものだ。コラムというよりエッセイに近いものになってしまったが、つまりぼくに言える今回のコラムの結びは、「自分思ったことをやって、怒られたら謝れ」ということだ。



「りぶらサポータークラブ」のご案内

図書館が好きな方、何かボランティアをしてみたい方、岡崎のまちが好きな方、文化や国際交流の発展を願う方など、いろいろな人が集まっています。りぶらサポータークラブを通じて、Libraをより身近に感じながら、一緒に、より魅力のある場にしていきませんか？

- Libraのサポーターの集まりです。
- 市民とLibraが協働して作り上げています。
- Libraがより活用されるよう考え、行動します。
- Libraでの利用者の活動をサポートします。
- 市民の生涯学習を応援します。

りぶらサポータークラブ・メールマガジンの登録はこちら↓
http://www.libra-sc.jp/official_organ/

会員募集

この会の趣旨に賛同し、お力添えをいただける方は、ぜひご入会ください。また、会の目的を達成するために、賛助・協力して下さる方々のお力が必要です。何卒、私たちの趣旨をご理解いただき、絶大なご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

- (1) 個人会員： 年会費 2,000円
- (2) 団体会員： 年会費 2,000円
- (3) 賛助会員： 1口 1,000円から（随時）

年会費の期限は4月1日から翌年の3月31日とし、賛助会費は随時受け付けます。年度途中の入会における年会費については、9月末日以降の入会をもって半額とし、納入された会費は、返却しないものとします。

●編集後記●

猫の手も借りたい。先人たちは本当に偉大な言葉を残したものだ。新生活が始まり、×切に追われてあたふたしている内に腰を痛め、気づいたら桜は散っていた。今年こそ花見に行くと心に決めていたのに……。先人たちの子孫でもあるぼくが、今一番言いたい言葉は「猫になりたい」だ。(鈴木)

Libra I on vol.9 2010/5/1発行 2008/11/1創刊
 ◆編集・発行 りぶらサポータークラブ 広報部
 〒444-0059 岡崎市康生通西4丁目71番地
 岡崎市図書館交流プラザ市民活動センター内
 りぶらサポータークラブ事務局
 TEL/0564-23-3114 FAX/0564-23-3142
 info@libra-sc.jp http://www.libra-sc.jp/